

1. 評価報告概要表

作成日平成20年6月30日

【評価実施概要】

事業所番号	1173200898
法人名	株式会社ザ・ムーバー
事業所名	グループホーム花みずき
所在地	〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿146-1 (電話) 049-298-1110

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年6月30日

【情報提供票より】(平成20年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 15人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.3人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての2階部分
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	25,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (200,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり1,333円			

(4) 利用者の概要(平成20年6月10日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	6 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	72 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大野外科内科クリニック
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑豊かな静かな住宅街の中にあり、開設して5年になる。医療行為が必要な方でも安心して利用できるホームとして、在宅酸素の利用者にも対応している。毎日、リハビリ訓練やレクリエーションを行っており、身体機能の向上に努めている。散歩や外出の機会を多く作り、利用者自らの意思に基づき自立した生活ができるように支援している。利用者の嚥下機能低下を予防するために、食事の前に嚥下体操を取り入れており、健康的な食生活を送ってもらえるように支援している。利用者には車イス使用の方も多くなってきており、重度化の傾向にある。重度化した場合には、家族の希望によりターミナルケアについての方針を家族と共に共有化して対応している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>会議内容を職員全員で共有できるようにするという点については、会議に欠席した職員には、会議録を確認しサインするように改善している。利用者と職員と一緒に食事をするという点については、要介護4が6名と要介護5が2名の状況では、食事介助に追われて現実的には難しい。年間を通しての計画的な研修という点については、新入職員に対する研修や外部研修への参加も行っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価については、職員会議で全職員に周知しており、自己評価の項目についても職員で話し合いをしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議については、2か月に1回の割合で開催している。参加者は、鳩山町高齢支援課の職員、老人会会長、区長、民生委員、ホーム側担当者である。議題としては、地域密着型グループホームについての意見や要望についてが中心となっている。ホームの現状を報告し、それに対して意見や要望を伺い、ホーム運営に活かすようにしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見や苦情については、面会時には必ず聞くようにしている。面会に来られない家族については、電話で聞くようにしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域のお祭り等の行事には積極的に参加するようにしている。地元の鳩山町社会福祉協議会の行事にも参加して、地域との交流を深めている。毎日、散歩を行っており、近隣の人たちとの交流もある。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして、地域の方やボランティアとの関わりを多く持ち、地域に開かれたホームづくりを目指して理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化に向けての取り組みとしては、職員会議での唱和や日々のケアの中で共有するようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お祭り等地域の行事には積極的に参加するようにしている。地元の鳩山町社会福祉協議会主催の無料開放日には、希望する利用者は行事に参加をして、カラオケを楽しんだりすることで、地域の人々と交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果については、職員会議で話し合い、職員全員で改善に取り組んできた。今回の自己評価についても、事前に職員会議で話し合い、職員全員で共通理解を持つようにしている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の割合で開催されており、会議ではホームの運営状況について説明している。町の高齢支援課の職員や老人会会長等が出席しており、意見や要望を聞いてサービスの向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスとして、町とは利用者の入居や退去の連絡および事故等の報告を行って連携に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月に1回、金銭管理を報告するとともに利用者の状況を伝えている。基本的に家族への報告は面会時にそのつど報告しているが、面会に来られない家族については、電話で連絡をしている。		面会に来られない家族が多いため、ホーム便りの定期的発行や手紙を送るなどして、ホームの行事連絡や利用者の状況を各家族へ個別に送付できるようにすることを期待したい。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会の時には、意見や苦情を聞くようにしている。面会に来られない家族には、電話で対応している。苦情担当職員も明確にしておき、いつでも意見や苦情が言える機会を作っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージを防ぐためにも、職員が働きやすい職場環境を作り、離職者を最低限に抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員研修や外部への研修にも職員が参加できるように計画的に行っている。また、毎月1回の全体会議を利用して職員の勉強会を行い資質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	埼玉県グループホーム協議会には加入しており、近隣のグループホームとの連絡を取り合い、情報交換を行っている。町の地域包括支援センターとの連携も取っており、職員の研修等も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームに馴染めるように、入居前には見学や話し合いの機会を持っている。利用者の気持ちを最優先し、ホームの雰囲気に少しずつ慣れるように配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員の離職が少ないため、長く勤めている職員も多く、利用者と年月を共に過ごすうちに支え合う関係が構築されてきている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に利用者本人および家族との面接において、希望や意向を把握するように努めている。また、日々の生活の中でも、利用者の希望等を聞けるように取り組み、思いやりをもって接することで本人の意向を汲み取るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の生活の中から利用者の希望や意向を取り入れ、家族や関係者とも話し合いながら介護計画を作成している。</p>		<p>家族とは話し合うことができない場合も見受けられるため、入所時のアセスメントシートだけではなく、その時々利用者の状態の変化を把握した新たな課題を明確化するためのアセスメントが望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状態に応じて、介護計画の見直しを行っている。また、面会時に家族からの意向を聞き、介護計画に反映させている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望や家族の状況に応じて支援しており、健康診断への通院介助や囲碁クラブへの介助も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回は協力医療機関の医師による往診があり、病状が悪化した場合には随時往診し治療を行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合には、今後の方針について家族、医師、管理者、看護師と話し合いを行っている。家族が終末ケアを希望した場合には、職員全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者のプライバシーを尊重した対応をしており、個人情報の取り扱いについても理解し注意を払っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のその日の状態や意向を尊重して、散歩やリハビリについては利用者一人ひとりのペースを大切にしながら支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の身体機能の低下や認知症の進行により、食事の準備や配膳等ができる利用者が少なくなってきているが、できる利用者には、力を活かしながら食事の準備や片付けを職員と一緒に行っていただいている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じて、いつでも入浴ができる体制にはしてある。現在、毎日入浴を希望される利用者はいないが、ゆったりと入浴を楽しめるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の趣味や生き甲斐を把握し、囲碁、塗り絵、お花、カラオケ、水墨画等を行って、張り合いのある生活を送ることができるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、毎日散歩に出かけている。また、買い物やドライブなど外出の機会を多く作って支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームのすぐ前の道路は交通量も多く、危険もあるため安全面に配慮し家族に説明した上で施錠することもある。日中における職員の目が届く時間帯には、一時的に開放している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回は、消防署立ち会いのもと避難・消火訓練を実施している。運営推進会議において、老人会会長や区長、民生委員の方に近隣の協力をお願いしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材については業者に委託しているので、カロリー計算や栄養バランスは配慮されている。水分量については、こまめにチェックして記録している。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は落ち着いた雰囲気や季節の花が飾ってある。生活感や季節感を採り入れた共用空間は、不快な音もなく静かで居心地よく過ごせるように配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、使い慣れた馴染みの家具が持ち込まれ、写真が飾ってあり、利用者本人や家族の意向を取り入れながら居室作りに工夫している。		